

我孫子市史研究センター・会報271号 (通算578号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

発行日 令和7年1月1日

新年のごあいさつ

会長 飯白 和子

明けましておめでとうございます。2025年(令和7)の新春を寿ぎ、皆様と共に新たな門出を祝いたいと存じます。

今年は、我孫子市史研究センター結成50周年を迎える記念すべき年です。

当会は、1975年(昭和50)11月30日に設立されました。その時に、会がモットーに掲げたのが「市民の手で創ろう我孫子の歴史」「市民が語りつごう我孫子の歴史」でした。その翌年5月の総会時の会員数は219名。この年の「7月16日に我孫子市の人口、8万人に到達」とありますから、如何に市民の関心が高かったか分かります。発足当初から、事務局は市教育委員会市史編さん室に置かれていましたが、2005年(平成16)に市民団体として独立、今年で20年目を迎えます。

50周年記念事業として、①『記念誌』の発行、②「市文化財保存活用地域計画」への協力、③「講演会・まち歩き・記念展示」を実施することにし、①の『記念誌』については、すでに「論文・研究ノート」に17名の応募がありました。「回想・抱負文」は、募集中。ご応募下さい。

②については、我孫子ガイドクラブ(新井会長)と協同して「県・市指定文化財の解説板」などの現状を調査、9月2日に報告書を提出しました。

③については、会員が講師となり「地域の歴史講演会」を5月に青山台青年館で、7月に天王台ハイタウン自治会集會場で、8月に久寺家近隣センターで、11月に天王台北近隣センターで実施。また、9月25日～10月5日まで「我孫子の歴史を楽しもう!」とのテーマでアビスタ・ストリート展示を実施し、我孫子の歴史の奥深さと郷土資料館の必要性を訴えました。更に8月から文化財ボランティアに会員が10数名参加しています。

創立50周年記念講演は、佐倉の国立歴史民俗博物館・前館長の久留島浩先生を講師に、本年10月13日の月曜日(祭日)に実施します。

令和6年度の「歴史講演会」は、本年2月19日(水)・会場はアビスタ・ホールで、講師は市教育委員会の主任学芸員の手嶋秀吾さんをお願いし、最近の発掘調査から「我孫子の縄文時代」について講演して頂きます。詳細は後日お知らせいたします。

また、当会の大切な活動である初心者古文書講座は、「ゼロから始める古文書」(入門編)として昨年の11月7日・14日・21日に実施し好評でした。第2弾として初級古文書講座を今年の3月18日・27日・4月8日に実施します。

最後に、1981年(昭和56)から44年間、年会費2,000円で頑張ってまいりましたが、昨年10月30日の臨時総会で、3,000円へ改訂することになりました。昨今の経済状況を鑑みご理解を賜りたくお願い申し上げます。

今年一年も、11月30日の結成50周年記念にむけて、会員の皆様と共に、歴史を楽しみつつ遊びながら前進したいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

『50周年記念誌』の「回想・抱負文」を募集しています。

回想・今後の抱負・近況などを、1000字位。 原稿の締切：2025年(令和7)3月末日

原稿宛先：記念誌編集委員会(荒井茂男・清水千賀子・宗岡恒雄・或は事務局まで)